

日中生活意識調査 結果発表

中国・日本の人生観比較

中国人は「ロケット型」、日本人は「気球型」

“早く大人になって、合理的に働き、早期リタイアしたい” 中国人
 “ゆっくり大人になって、細く長く働き、自己実現しながら生きたい” 日本人

博報堂生活総合研究所は、日本と中国で生活意識調査を実施し、この中から20歳～59歳までの男女を抽出して比較分析を行いました。この調査結果から見えてくる日本人と中国人の生活観の違いを発表します。

当研究所では、以下のような各分野の調査結果から見えてきた、**明るくポジティブで合理的な中国人の人生観を「ロケット型」、細く長く自己実現しながら生きたい日本人の人生観を「気球型」と定義しました。**なお現在の中国は、社会変化のスピードが大変速く、また地域差もありますが、4都市(北京、上海、広州、成都)の調査を大きく「中国」と捉え、日本の生活者との違いを分析しています。

【日中生活比較・5大発見】

	中国人の意識特徴	日本人の意識特徴
① 暮らし・生活意識	明るく前向きでポジティブ 「大人」の年齢(平均)は20.8歳	外向きではなく個に向かう 「大人」の年齢(平均)は24.3歳
② 健康・ストレス	ストレスが少なく健康意識高い	ストレスが多く休息を増やしたい
③ 働き方	積極的・合理的に働きたい 退職希望年齢(平均)は54.7歳	やりがいを求めて自己実現したい 退職希望年齢(平均)は61.3歳
④ 家族・恋愛	男女平等	男力が低下
⑤ お金の使い方	しっかり貯めてしっかり使う	プレゼントなど“気遣い消費”が高い

中国式人生観 **「ロケット型」**

日本式人生観 **「気球型」**

■中国式人生観「ロケット型」早く大人になって、合理的に働き、早期リタイアしたい

北京オリンピックや上海万博などで活気づく中国では、ほぼ全員が「自分の将来は明るい」と考え、今後の暮らし向きには明るい見通しを持っているようです。「大人」と思う年齢は18歳以下が最多、「退職」希望年齢は中国の一般的な退職より早い「50歳まで」の回答が最多で4割を超えました。また働き方では、「やりがいより安定性で選ぶ」人は約4割、「休日も会社の人と付き合いたい」人は約8割で、日本と大きく異なる傾向が見られました。合理的に働き、よりよい生活を手に入れ早期リタイアしたい中国人の人生設計は、まるで目的をめざし、まっしぐらに向かう「ロケット」のようです。

■日本式人生観「気球型」ゆっくり大人になって、細く長く働き、自己実現しながら生きたい

バブル崩壊以降、経済も生活も右肩上がりになることはないかと悟っている日本。「自分の将来は明るい」と考える人は7割弱ほどで「将来は暗い」と考える人が3割強とマイナス志向の感情が目立ちました。「大人」と思う年齢は平均24.3歳と高く、「やりたい仕事なら会社の規模や知名度にこだわらない」人が6割を占め、中国人の2倍を超えました。また、ストレスを感じている日本人は約7割強で中国人の約2.5倍に上り、睡眠不足や疲れを感じている人も中国人の2倍以上でした。ゆっくり大人になり、細く長く働いて、自己実現をしたいと考える日本人の人生設計は、例えば、風に乗って目的地をゆっくりと探していく「気球」のようです。

本件に関するお問い合わせ先

博報堂生活総合研究所 山本貴代 TEL:03-3233-6450
 博報堂研究開発局 大橋直子 TEL:03-5446-6153

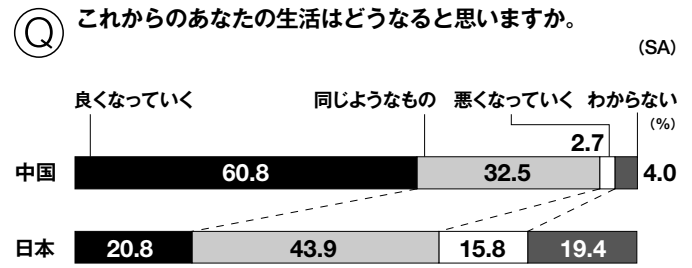
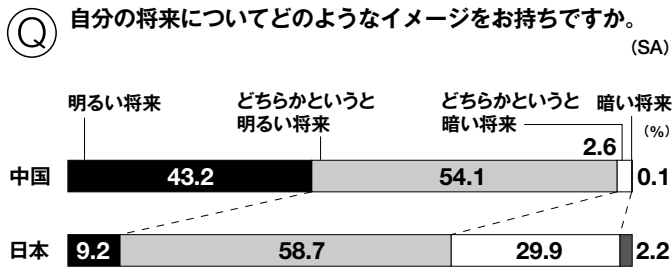
【調査結果 概要】

【暮らし・生活意識】明るく前向きな中国、外向きではなく、“個”に向かう日本。

現在の暮らしや今後の見通しに両国で明確な違いが見られました。このような気持ちのベースが重なって、前向きな中国と“個”に向かう日本、を作り出しているのではないのでしょうか。

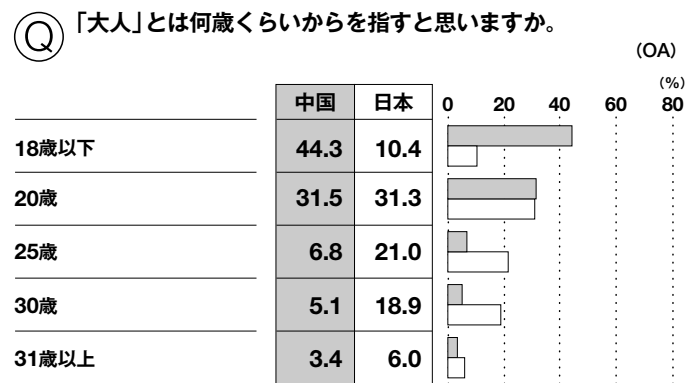
■自分の将来は「明るい」、今後の暮らしが「良くなっていく」と考えている中国人。

自分の将来を「明るい」と考える人は中国人 97.3%、日本人はこれを大きく下回る 67.9%。一方日本人の 3 割以上が自分の将来は「暗い」と考えており、見通しの暗い気分で生活している日本人が映し出されています。今後の暮らし向きについては中国人の 60.8% が「良くなっていく」と考えポジティブな生活観がうかがえます。



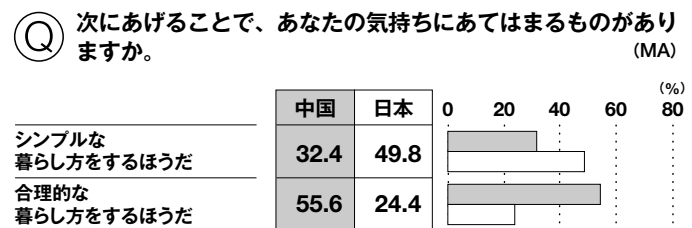
■大人年齢は「18歳以下」が最多で早く大人になる中国人。大人年齢が高く、ゆっくり大人になる日本人。

大人と思う年齢を聞いたところ、中国人は「18歳以下」という回答が 44.3% で最も多く、一方の日本人は「20歳」、「25歳」、「30歳」の回答がそれぞれ 2～3 割を占めました。また平均年齢は中国 20.8 歳、日本 24.3 歳となっており、早く大人になる中国人、ゆっくりと大人になる日本人という人生観が浮かび上がります。



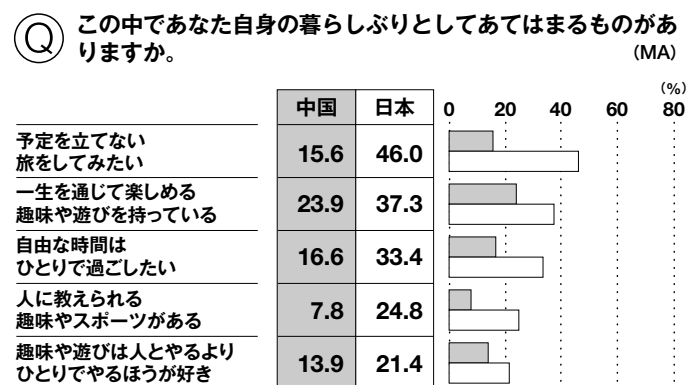
■暮らし方の傾向は、中国人は「合理的志向」、日本人は「シンプル志向」。

中国人の約半数が「合理的な暮らし方をするほうだ」、日本人の約半数が「シンプルな暮らし方をするほうだ」と回答しました。



■「ひとりで過ごしたい」「予定を立てない旅をしたい」。現実逃避か、“個”にむかう日本人。

日本人は「自由な時間はひとりで過ごしたい」(33.4%)、「予定を立てない旅をしてみたい」(46.0%) を選ぶ人が多く、中国人との考え方の違いが大きく表われました。先の見通しの立たない暗い気分から逃避するかのように、“個”に向かう日本人の特徴がうかがえます。



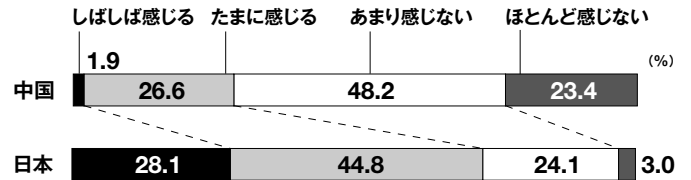
【健康・ストレス】健康意識の高い中国人、ストレスだらけの日本人。

ストレスの感じ方は、中国と日本で大きく意識が異なりました。ストレスの感じ方が小さく、健康にも気を使う中国人に対して、日本人はストレス感情が高く、睡眠・趣味・休息の時間をもっと増やしたいという意識が大きく上回りました。日本人の飲酒率の高さはストレスの高さと関連するのかもしれませんが。

■ストレスを感じている日本人は7割以上。

ストレスへの実感が72.9%にも上る日本に対して、中国では約3割程度にとどまりました。ただし今後は、急速に発展を続ける社会に身をおく中国人は、高まるストレスと向き合っていくことになるのではないかと考えられます。

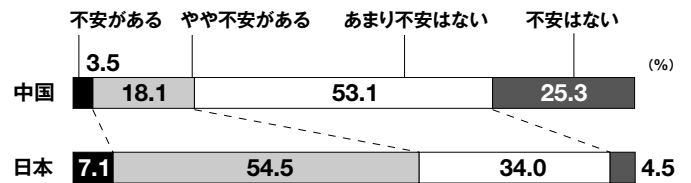
Q あなたは、生活の中でイライラやストレスをどの程度感じますか。(SA)



■半数以上が健康に不安を感じている日本人。8割が不安を感じていない中国人。

ストレスの多い日本人は健康にも不安を抱いている人が多く、日本人(61.6%)は、中国人(21.6%)の約3倍に上りました。

Q あなたは、どの程度、健康に不安がありますか。(SA)



■精神的にも肉体的にも疲れている日本人。健康のために努力する中国人。

日本人で、「日頃、睡眠不足を感じている」(49.2%)「精神的に疲れを感じていることが多い」(48.5%)、「肉体的に疲れを感じていることが多い」(40.5%)が、それぞれ中国を大きく上回りました。ストレスの多い日本人は心身ともに疲れているようです。また「健康のための努力を惜しまないほうだ」は中国人(26.2%)が、日本人(9.0%)を大幅に上回りました。

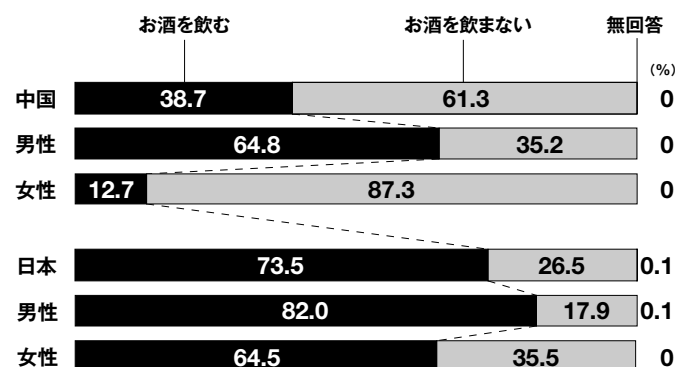
Q この中で、あなた自身の暮らしぶりとしてあてはまるものがありますか。(MA)



■ストレス発散？ 男も女もお酒をよく飲む日本人。日本人の飲酒率は7割強で、中国人の2倍近く。

日本人の飲酒率73.5%は、中国人の38.7%を大幅に上回りました。特に女性の飲酒では、日本人女性(64.5%)が、中国人女性(12.7%)の約5倍にもなりました。

Q あなたはお酒を飲みますか。(SA)



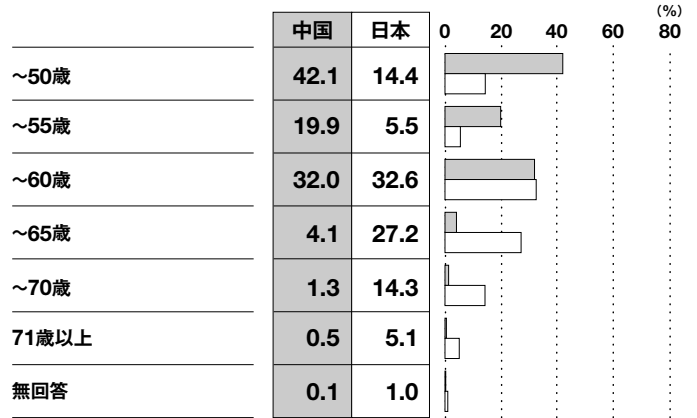
【働き方】合理的に長く短く働きたい中国人。 やりがいと自己実現を求めて働きたい日本人。

日本人と中国人では仕事の位置づけも微妙に違います。長く短く安定した仕事に取り組む中国人に対して、自己実現を目指しながら長く働きたい日本人の違いが浮かび上がりました。

■理想の退職年齢は、中国人 54.7 歳、日本人 61.3 歳。合理的に働いて早くリタイアしたい中国人。

何歳まで現役で働きたいかを聞いたところ、中国人では、一般的な退職年齢より早い「50歳まで」が42.1%と最も多く、平均年齢も54.7歳となりました。一方の日本人は60代以降を挙げる割合が多く、平均年齢は61.3歳でした。合理的に一気に働きたい中国人、長く働きたい日本人の意識差がうかがえます。

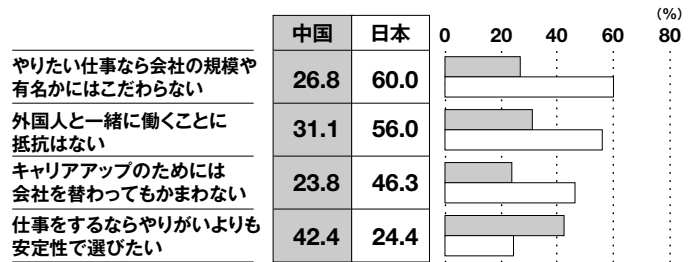
Q あなたは、何歳まで現役で働きたいと思いますか。



■仕事にはやりがい重視の日本人、やりがいより安定性で会社を選ぶ中国人。

「やりたい仕事なら会社の規模や有名かにはこだわらない」という考え方は日本人が圧倒的に多く60.0%（中国26.8%）、「キャリアアップのためには会社を替わってもかまわない」も46.3%（中国23.8%）で、やりがいと自己実現を求めて働く日本人の傾向が見えてきます。一方、中国では「仕事をするならやりがいよりも安定性で選びたい」42.4%（日本24.4%）で、仕事に対する安定志向の高さがうかがえます。

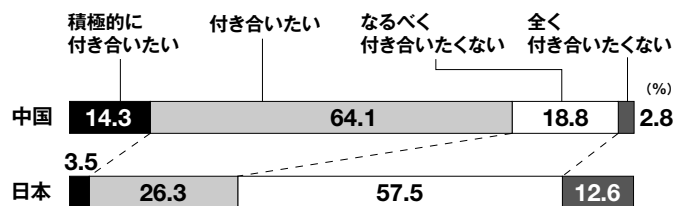
Q この中で、あなた自身の暮らしぶりとしてあてはまるものがありますか。



■休日も会社の人と付き合いたい中国人。

休日の会社の人との付き合いについて聞いたところ、中国人は「付き合いたい」が計78.4%と多数を占めました。一方の日本では、「付き合いたくない」人が計70.1%を占め、両国で対照的な傾向を示しました。

Q 休日の会社の人たちとのつきあい（ゴルフ、自宅訪問など）について、あなたはどうお考えですか。



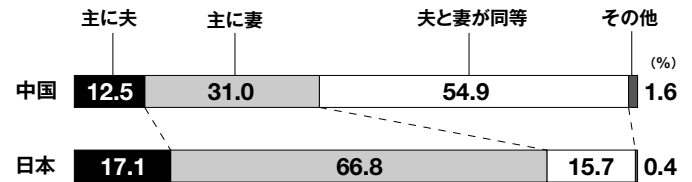
【家族・恋愛】男女平等の中国。夫や父親など「男力」が弱くなった日本。

家庭の姿で特徴的なのは、日本では夫や父親の力が落ちているのに対し、中国では男女平等の傾向が強く、結婚適齢期の意識も残っています。また日本では、男性が弱くなり、女性が積極的にリードする傾向がみられます。

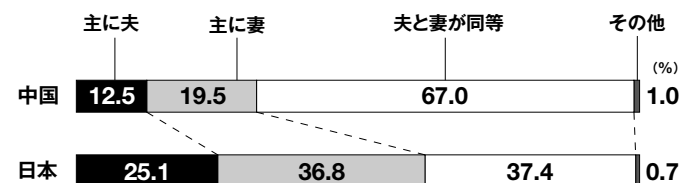
■日本では“サイフのひも”を握っているのは妻が約67.0%。中国は男女平等が一般的。

“サイフのひも”を握っているのは、日本は「妻」(66.8%)が最も多く、一方の中国では「夫と妻が同等」(54.9%)。また中国では夫婦間の決定権も「夫と妻が同等」67.0%で平等であることが分かりました。

Q いわゆる「サイフのひも」を握っている方はどなたですか。(SA)



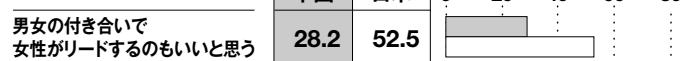
Q 買い物や物事を決める時に、最も決定権を持っている方はどなたですか。(SA)



■女性リードの恋愛にも違和感がない日本。夫や父親など「男力」が弱まりつつある。

「男女の付き合いで女性がリードするのもいいと思う」という回答は、日本人52.5%で男女とも過半数を超えました。一方の中国では28.2%と少数派でした。また日本では「昔に比べて子供に対する父親の力は弱まったと思う」人が56.6%と過半数を超えました。(中国では9.6%)

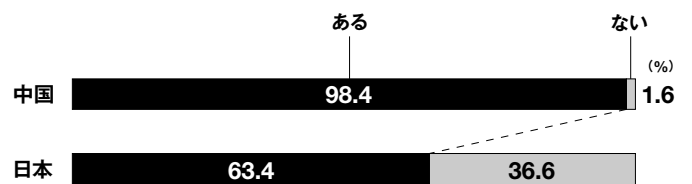
Q



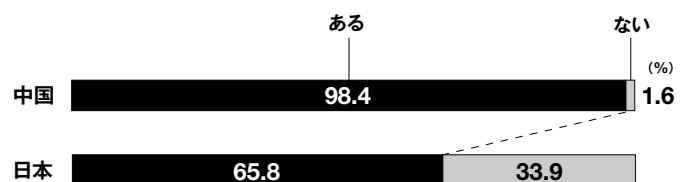
■結婚適齢期がある中国、男女ともに適齢期意識が低い日本。

中国では、男女とも98.4%のほぼ大半が「結婚適齢期がある」と答えました。一方の日本では、「男性に適齢期がある」と思う割合は63.4%、「女性に適齢期がある」と思う割合は65.8%ほどに留まり、中国に比べ、適齢期の意識の低さがうかがわれます。

Q 男性に結婚適齢期はあると思いますか。(SA)



Q 女性に結婚適齢期はあると思いますか。(SA)



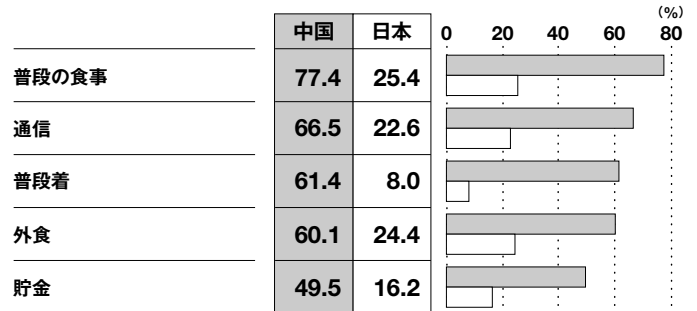
【お金の使い方】消費意欲が高く、しっかり貯めてしっかり使う中国。 “気遣い消費”の日本。

前向きな生活を送る中国では消費に関する意識も前向きです。熱心に貯金をしているが、衣食住様々な分野にお金をかけているという意識も持っています。日本は消費に関して中国ほどの積極性は見られませんが、記念日などのプレゼント消費は、幅広く中国を上回っています。

■中国は「普段の食事」「通信」「普段着」などにお金をかけていると認識。中国人の約半数は貯金に熱心。

現在お金をかけているものを尋ねたところ、中国では、1位「普段の食事」(77.4%)、2位「通信」(66.5%)、3位「普段着」(61.4%)、4位「外食」(60.1%)が高く、多岐に渡った積極的な消費姿勢がうかがえます。一方の日本では、過半数の人が答えた回答はなく、1位「普段の食事」(25.4%)、2位「外食」(24.4%)と全体的に低い割合となりました。また「貯金」にお金をかけていると答えたのは、中国49.5%に対し、日本16.2%でした。

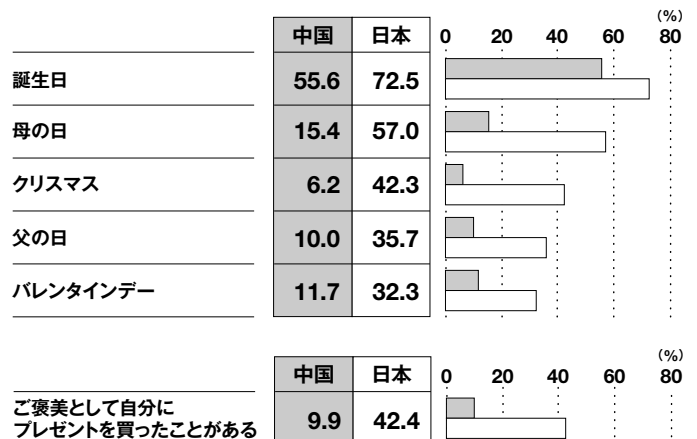
Q あなたは、次の項目について、現在お金をかけていますか。(MA)



■記念日プレゼントが好きな日本人。「自分へのご褒美」も日本人特有?

プレゼントを贈る機会では、日本人は「誕生日」(72.5%)「母の日」(57.0%)「クリスマス」(42.3%)「父の日」(35.7%)、「バレンタインデー」(32.3%)などの多くの記念日が上がりました。普段、お金をかけている項目が中国に比べて低い日本ですが、プレゼント消費には積極性が見られました。また「ご褒美として自分にプレゼントを買ったことがある」は、日本人は42.4%(中国人9.9%)でした。

Q あなたがこの1年に、中元歳暮以外に、贈り物をしたのはどういう時でしたか。(MA)



日中生活意識調査 調査設計

【日本】生活定点 2006

- 調査時期 2006年5月17日～6月5日
- 調査対象 20歳から69歳までの男女3,293名
- 分析対象 20歳から59歳までの男女2,672名
- 地域 首都圏、阪神圏
- 調査方法 訪問留置法
- 分析サンプル 2,672サンプル(有効回収数)

年代	男性	女性
20～29歳	312人	292人
30～39歳	408人	385人
40～49歳	305人	288人
50～59歳	341人	341人
合計	1,366人	1,306人

【中国】中国生活定点 2006

- 調査時期 2006年6月～7月
- 調査対象 15歳から59歳までの男女4,882名
- 分析対象 20歳から59歳までの男女4,479名
- 地域 北京、上海、広州、成都
- 調査方法 訪問留置法
- 分析サンプル 4,479サンプル(有効回収数)

年代	男性	女性
20～29歳	555人	563人
30～39歳	707人	715人
40～49歳	559人	560人
50～59歳	414人	406人
合計	2,235人	2,244人